

「柏市のこれから」にプラスをする視察！

委員会視察 de プラス



視察について、詳しくは視察報告のページへ

総務市民委員会

5月10日
～11日

愛知県
岡崎市

災害現場映像通報システム

消防指令センターと通報者との間で、テレビ電話を利用し現場の状況の確認や通報者のサポートなどを行う災害現場映像通報システムについて学びました。

令和元年10月から運用を開始したこのシステムは、通報者にショートメッセージを送付し、記載されているURLをタップすると映像配信がスタートして映像を指令センターや出動隊と共有することができます。また、応急措置動画へのリンクを通報者へ送信し救急措置実施のサポートを行うことも可能です。

導入の効果として、スムーズな現場活動につながったことや、市民による救急措置の実施率の上昇などがあったそうです。

また、実際の指令センターでのシステム実演や日本に2台しかない全地形対応型の消防車両「レッドサラマダー」などを見学しました。

健康福祉委員会

5月11日
～12日

静岡県
静岡市

静岡市認知症ケア推進センター「かけこまち七間町」

認知症の方とその家族への支援と、全世代に向けた予防や理解促進のための事業を行う拠点である「かけこまち七間町」にて、認知症に対する静岡市の取組を学びました。

静岡市は現在、高齢者の8人に1人が認知症と診断され、2030年には5人に1人になると推計されています。令和2年に中心市街地に設置された「かけこまち七間町」では、認知症の人やその家族の支援を行うとともに、全世代を対象として広く認知症予防や認知症の理解促進に係る事業を展開しています。施設は主に、個別相談支援と関係機関との連携、研究開発と人材育成、普及啓発と理解促進の3つの機能を有しており、市内全域を支援しています。

今後は、専門性向上のために施設機能を拡充することで、関係機関から一目置かれる存在を目指すとのことでした。



消防車両見学の様子

ココでも 先進事例を学びました

愛知県小牧市
こまきスマート窓口



入しやすいよう工夫された入口

ココでも 先進事例を学びました

愛知県豊田市
・重層的支援体制整備事業について
・認知症施策について

教育子供委員会

4月27日
～28日

奈良県
奈良市

奈良市子どもセンター

地域子育て支援センター、キッズスペース、子供の発達相談、子ども家庭総合支援拠点及び児童相談所の機能を集約し、子育てを総合的に支援する取組を学びました。

奈良市子どもセンターは、約5年ほどの準備期間を経て開所となった複合施設で、様々な機能を有し、いろいろな観点から子供や子育て世代を支援しています。センター開所から現在まで、センターに寄せられている評価等は、一般市民からはキッズスペースなどの遊び場があり満足している、リピートしている等があり、一部議員からは人材確保について心配する声、児童相談所の職員からは業務効率・スピードなどが上がった、といったものでした。

今後の課題は主に、人材をいかに確保・育成していくかといった部分で、対応を考えているとのことでした。



5つの機能を集約した子どもセンター

ココでも 先進事例を学びました

京都府京都市
小中一貫教育について

建設経済環境委員会

4月20日
～21日

富山県
富山市

公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり

LRTネットワークの形成等により、過度に車に依存したライフスタイルを見直し、歩いて暮らせるまちを実現した富山市の取組事例を学びました。

富山市は、徒歩圏に日常生活に必要な機能がそろっていないことや公共交通の衰退等から車を使えない人にとって、生活しづらいまちとなっていたそうです。この課題に対応するため、公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、文化等の都市機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを目指しました。

同市における次世代型路面電車システムLRTを中心としたネットワークの形成を目指した公共交通の活性化、事業者・市民に対し都心地区への居住を助成するまちなか居住推進事業、にぎわいの核となる全天候多目的広場としてグランドプラザの整備などの取組が紹介されました。



富山市内を走るLRT

ココでも 先進事例を学びました

石川県金沢市
市街地再開発事業について